事務事業評価シート　令和 5 年度事後評価・決算

令和 6 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29000	道路維持管理費

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	172	市道の維持補修事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	2
所管課	建設課			
担当班	管理班			
開始年度	不詳			
根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

●認定市道及び法定外公共物において、道路排水路清掃、街路樹の維持管理等、道路に関する委託事業と作業員を常備することにより道路補修等、住民の要望に速やかに対応する。
【課員】道路排水路の日常的な管理業務
【作業員】主に道路の整地、草刈り、側溝清掃
【委託業務】市道植込(ツツジ、桜)保守、街路樹の維持管理、草刈り
【作業員】常時8人

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

車社会の到来により、舗装道路における破損の進行が著しく、破損箇所が起因となる交通事故、2次災害防止の目的及び排水路維持管理のため

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

大型ダンプ等の通行により市道・農道の舗装の傷みが激しい。また、大雨による道路の冠水が発生している。
住民から道路舗装の陥没及び穴の補修の要望がある。また、農業用排水路について、家庭雑排水を放流している関係上、地元の生産組合管理の排水路等に堆積土があり流れが悪く、大雨が降ると道路が冠水するケースが発生しており、住民から苦情がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動		提供するモノやサービス		成果		施策の展開		基本施策		基本目標
道路の維持管理を行う	➡	利用者(市民)が適正に管理された道路を通行	➡	道路の安全性が向上し、利用者(市民)が安心して通行できる。	➡	市道の整備	➡	安全で快適な道路の整備	➡	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

【道路の維持管理を行う】
・道路排水路等清掃委託の実施
・道路維持管理(道路パトロール)

② 活動指標

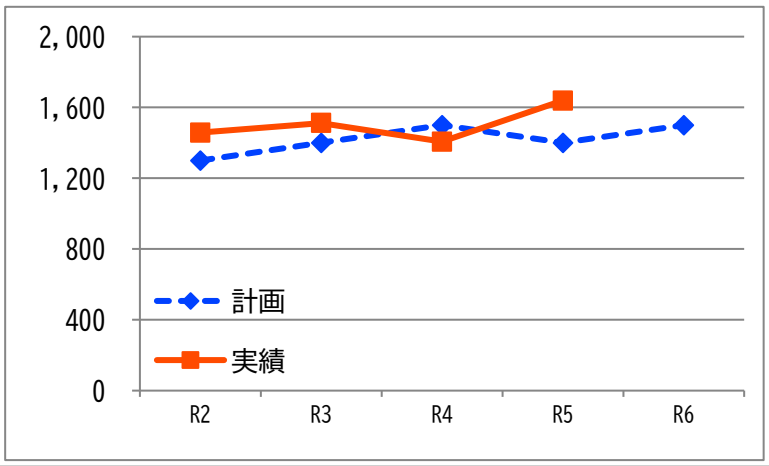
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	道路の定期草刈り箇所数(委託実施)	箇所	計画	20	22	20	20	20
			実績	16	17	20	20	
イ	作業員による道路補修等	件	計画	700	700	700	700	700
			実績	667	638	593	692	

③ 成果指標

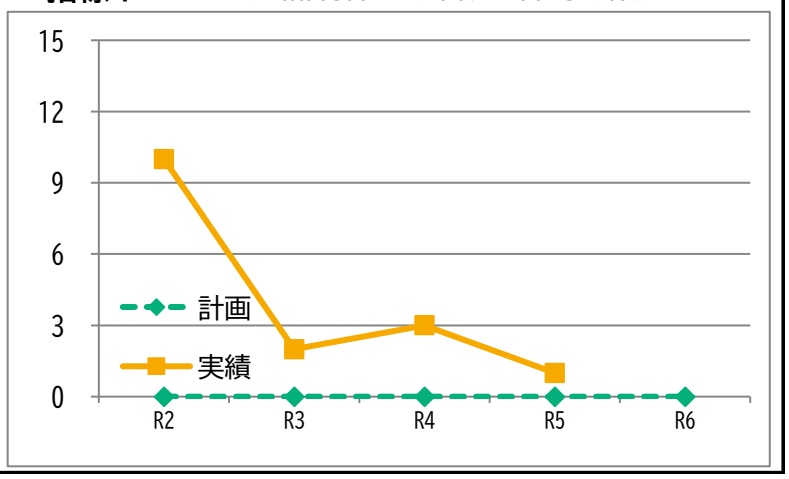
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	年間要望・苦情の件数	減らす	件	計画	1,300	1,400	1,500	1,400	1,500
				実績	1,458	1,512	1,407	1,639	
イ	道路維持管理に起因する車両事故件数	減らす	件	計画	0	0	0	0	0
				実績	10	2	3	1	

④成果指標の動向

指標ア　年間要望・苦情の件数



指標イ　道路維持管理に起因する車両事故件数



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 賃金	15,853	17,115	17,453	21,855	26,644
	2. 需用費	9,222	8,846	13,453	14,339	17,033
	3. 委託料	15,343	19,012	18,893	22,953	21,450
	4. 工事請負費			14,610	9,327	0
	5. 原材料費	10,115	9,983	8,772	8,935	11,000
	6. その他	3,645	9,785	10,519	4,318	5,964
	合計	54,178	64,741	83,700	81,727	82,091
財源内訳	国・県支出金					
	地方債			13,700	8,500	
	その他					
	一般財源	54,178	64,741	70,000	73,227	82,091
	一般財源の比率	100.0%	100.0%	83.6%	89.6%	100.0%

② 従事職員数

常時 8 人

最大 人 × 日 ＝ 延べ 人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.賃金	報酬、職員手当、費用弁償
2.需用費	光熱水費、修繕料、燃料費、消耗品費
3.委託料	道路排水路等清掃委託
4.工事請負費	河川等浚渫工事
5.原材料費	原材料費
6.その他	労災等保険料、役務費、機械借上料等

④ 特定財源の詳細(R5決算)

国・県支出金	
地方債	河川等浚渫事業債
その他	

⑤ R4→R5　増減理由

賃金：作業員１名増
その他：R4車両購入

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	定期的なパトロールや通報により、道路の不具合箇所や危険個所を早期に把握・対応し、適正な維持管理に努めている。

		判定	分析(変動の要因や対策について)
② 成果指標の推移（R4→R5）	指標ア	伸び悩み	要望・苦情件数は増加し、伸び悩んでいる。
	指標イ	好調維持	道路パトロールを強化し、危険個所等の早期発見・対応により事故件数を縮小させる。

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR6以降の方針）	継続実施		引き続き定期的な道路パトロールなどにより、危険個所等を早期に把握し、早期対策に取り組み、道路利用者が安全・安心して通行できる道路環境の維持管理を実施する。

事務事業評価シート　令和 5 年度事後評価・決算

令和 6 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29200	道路維持補修事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	172	市道の維持補修事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	2
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	不詳			
根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☑ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

道路は毎日たくさんの車や歩行者が通ることにより、時間が経つにつれて傷んでしまうことから、良好な状態に保つ必要がある。道路表面にできた穴やひび割れを埋めたり、舗装を新しくしたりすることにより傷みや劣化を修理し、道路を安全かつ快適に使える状態に戻すことを目的としている。
道路の破損状態を把握するため、定期的にパトロールを実施している。
緊急性の高い補修工事は、迅速に対応できるよう年間で業務委託を行っている。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

交通量の増加とともに、道路舗装の破損を起因とする車両事故も増加したことから、車両事故防止を図るため事業を実施している。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

交通量の増加、とくに大型車両の増加により、既存の舗装構成では道路の強度が不足している路線があり、舗装のひび割れなどが多くの箇所で発生している。
道路の破損によるタイヤのパンクや自転車の転倒事故は依然として発生していることから、パトロールの強化や早急な補修などの対応が求められている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
道路維持補修工事の実施 道路パトロールの実施	道路の利用者に安全かつ快適な道路環境を提供する	道路への要望・苦情件数の減少 道路維持管理に起因する車両事故件数の減少	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

道路維持補修工事の実施
道路維持補修工事　54件(312,537千円)
道路維持補修工事(年間委託)　85件(18,912千円)

道路パトロールの実施
定期パトロール(1回／週)の実施

② 活動指標

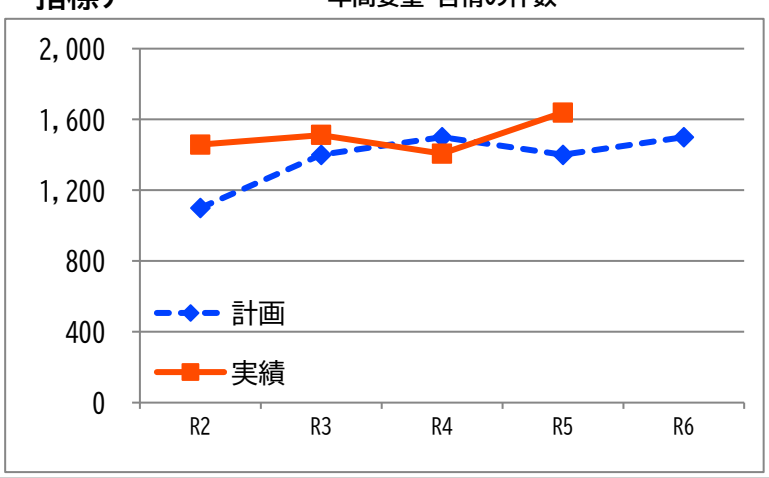
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	維持補修延長(年間委託実施分を除く)	m	計画	3,500	4,130	5,100	5,400	4,160
			実績	2,849	4,570	6,856	5,651	
イ	年間委託による維持補修件数	件	計画	60	64	70	70	75
			実績	76	66	72	85	

③ 成果指標

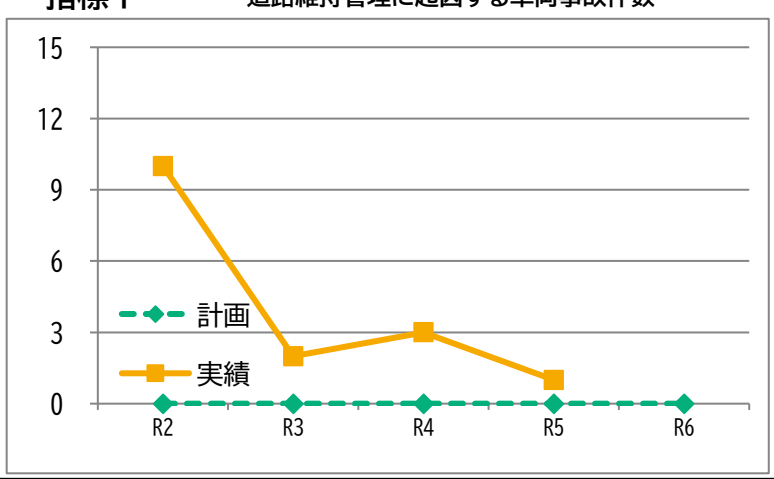
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	年間要望・苦情の件数	減らす	件	計画	1,100	1,400	1,500	1,400	1,500
				実績	1,458	1,512	1,407	1,639	
イ	道路維持管理に起因する車両事故件数	減らす	件	計画	0	0	0	0	0
				実績	10	2	3	1	

④成果指標の動向

指標ア　年間要望・苦情の件数



指標イ　道路維持管理に起因する車両事故件数



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 道路補修委託料	17,006	19,028	21,471	18,912	23,958
	2. 調査･測量委託料					
	3. 道路舗装改修工事	161,666	307,443	329,657	312,537	267,187
	4. 負担金補助及び負担金					
	5. その他					
	合計	178,672	326,471	351,128	331,449	291,145
財源内訳	国･県支出金					
	地方債	46,300	215,700	271,500	255,900	223,200
	その他					
	一般財源	132,372	110,771	79,628	75,549	67,945
	一般財源の比率	74.1%	33.9%	22.7%	22.8%	23.3%

② 従事職員数

常時	12	人

最大		人	×		日	＝	延べ		人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.道路補修委託料	85件
2.調査･測量委託料	
3.道路舗装改修工事	54件
4.負担金補助及び負担金	
5.その他	

④ 特定財源の詳細(R5決算)

国･県支出金	
地方債	道路維持補修事業債
その他	

⑤ R4→R5　増減理由

道路舗装改修工事は、予算の縮小に伴い施工延長や件数が減少したが、道路維持管理に起因する車両事故件数は低く抑えることができている。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		順調	予算は減少したが、道路維持管理に起因する車両事故件数は低く抑えられ、道路環境を良好な状態に維持することができたものの、道路に関する要望･苦情は多く寄せられていることから、引続き道路環境の改善が必要である。
② 成果指標の推移（R4→R5）	指標ア	伸び悩み	要望･苦情件数は増加し、伸び悩んでいる。
	指標イ	好調維持	

	判定	方針	判定･方針の詳細
③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR6以降の方針）	継続実施		今後も道路環境を健全な状態に保ち、安全で快適な道路を提供するため、維持補修を継続して実施していく。成果指標のさらなる減少を実現するため、日常パトロールを行い苦情や事故につながる前の道路メンテナンスに努めていく。

事務事業評価シート　令和 5 年度事後評価・決算

令和 6 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29300	交通安全施設維持補修事業

施策体系			
基本施策	28	防犯対策・交通安全の強化
施策の展開	61	交通安全環境の整備
戦略事業名	254	交通安全施設維持補修事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	2
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	不詳			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

・交通安全の観点から必要な箇所に標識・照明灯・区画線等の交通安全施設の新設を行う。また、以前設置された交通安全施設の維持補修・更新を行う。
・交通安全施設・・・防護柵(ガードレール)、照明灯、標識(案内標識、警戒標識)、区画線、路面表示、カーブミラー等
・歩道設置や交差点改良は別事業で実施し、近年では、危険個所へのカラー舗装等の注意喚起、耐用年数を迎えた防護柵、カーブミラーの更新、また通学路合同点検を行った箇所への対応が中心になっている。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

交通事故の減少を目的として事業が開始された。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

自動車の増加や、市道の総延長の増大により、交通安全施設の対策必要箇所は増えている。また、以前整備された交通安全施設は老朽化が進んでいる。
市民から、道路における交通安全施設の設置要望や不具合の情報等が多数寄せられている。また、近年相次いだ通学中の児童の交通事故を受けて通学路の安全対策が求められている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
①市道の危険箇所への安全対策の実施 ②通学路点検で上げられた要望への対策の検討・実施	危険箇所への交通安全施設等の新設・更新	市道利用者(市民)の安全性の向上	交通安全環境の整備	防犯対策・交通安全の強化	将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

交通安全施設の新設・更新
通学路の危険箇所への対策

② 活動指標

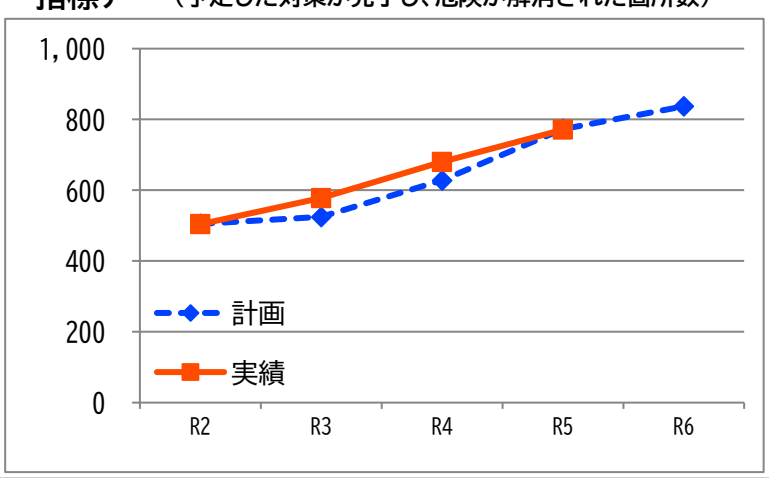
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	防護柵新設・更新延長	m	計画	380	200	350	415	220
			実績	627	327	550	151	
イ	カーブミラー新設・更新箇所数	箇所	計画	29	25	25	25	29
			実績	21	29	24	18	

③ 成果指標

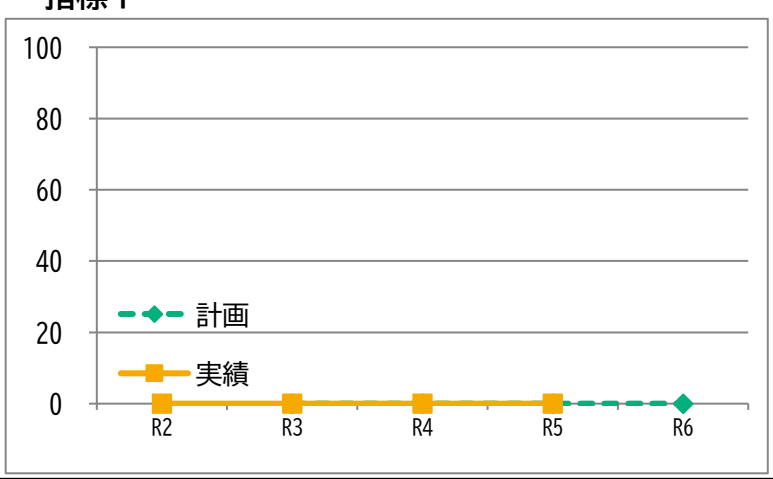
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	危険解消箇所数(予定した対策が完了し、危険が解消された箇所数)	増やす	箇所	計画	505	525	628	773	837
				実績	504	578	680	771	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　危険解消箇所数(予定した対策が完了し、危険が解消された箇所数)



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 維持補修費	524	810	1,079	688	987
	2. 工事請負費	23,330	20,538	24,267	30,245	19,987
	3. 原材料費	822	795	798	790	866
	4. 委託料	5,758	6,212	6,497	6,364	10,153
	5. 負担金補助及び交付金					
	合計	30,434	28,355	32,641	38,087	31,993
財源内訳	国･県支出金					
	地方債	5,800	1,000	1,500		
	その他			6,497		
	一般財源	24,634	27,355	24,644	38,087	31,993
	一般財源の比率	80.9%	96.5%	75.5%	100.0%	100.0%

② 従事職員数

常時	1	人

最大		人	×		日	＝	延べ		人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.維持補修費	交通安全施設の維持補修（主に照明灯の電球交換）
2.工事請負費	交通安全施設全般の新設・更新
3.原材料費	カーブミラー、道路標識の購入費（職員直営の補修に使用）
4.委託料	カーブミラーの新設・維持補修
5.負担金補助及び交付金	

④ 特定財源の詳細(R5決算)

国･県支出金	
地方債	交通安全施設維持補修事業債
その他	ふるさと応援基金

⑤ R4→R5　増減理由

要望箇所が多く、対応箇所が増加したため。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	各要望･通学路への安全対策が順調に進捗できているため。

		判定	分析(変動の要因や対策について)
② 成果指標の推移（R4→R5）	指標ア	好調維持	R4年度に比べ、R5予算が増加し、多くの箇所の対策を行うことができた。
	指標イ		

	判定	方針	判定･方針の詳細
③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR6以降の方針）	継続実施		市民から多くの要望、通学路点検があり、対策が必要な箇所が多々残っているため、引き続き安全対策の検討･実施を行い、安全な道路環境の整備を図る。

事務事業評価シート　令和 5 年度事後評価・決算

令和 6 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29400	急傾斜地崩壊対策事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	174	急傾斜地崩壊対策事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	2
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	令和元年度			
根拠法令	急傾斜の崩壊による災害の防止に関する法律			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

急傾斜地やこれらに隣接する土地のうち斜面の崩壊により住民の生命に危害のおそれのある区域の保全を図る。本事業については実施主体は県となるが、特定要件により市が行うことがある。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

急傾斜地崩壊危険区域に指定されていない区域の斜面の崩壊による被害を防ぐため。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

地震や大雨等による土砂災害が全国的に増加し、問題となっている。
台風や大雨による土砂崩れが市内でも発生しており、地域住民から不安の声が上がっている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
①千葉県施行による急傾斜地崩壊対策事業に伴う負担金 ②法面対策のための設計・工事の実施	急傾斜地の法面対策	急傾斜地の崩壊から人命の保全	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

見広2地区急傾斜地崩壊対策事業(千葉県施行に伴う負担金)

② 活動指標

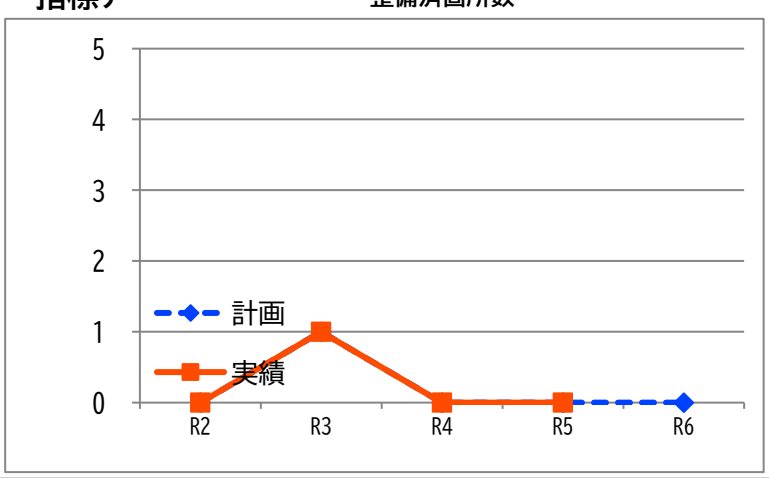
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	測量設計業務委託の実施	件	計画	－	0	0	0	0
			実績	3	0	0	0	
イ	法面復旧工事の実施	件	計画	－	1	0	0	0
			実績	0	1	0	0	

③ 成果指標

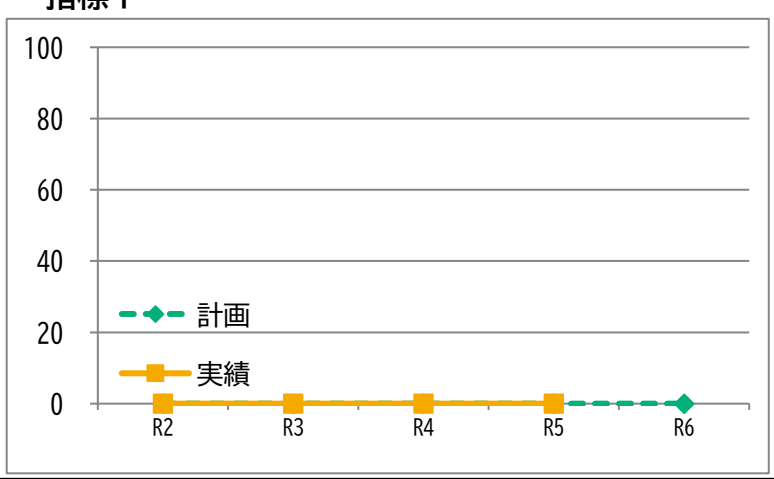
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	整備済箇所数	増やす	箇所	計画	－	1	0	0	0
				実績	0	1	0	0	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　整備済箇所数



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 調査･設計委託料	25,882				
	2. 法面復旧工事		8,573			
	3. 土地等借上料					
	4. 負担金		1,654	1,518		14,000
	合計	25,882	10,228	1,518	0	14,000
財源内訳	国･県支出金					
	地方債		10,228	1,500		14,000
	その他					
	一般財源	25,882	0	18	0	0
	一般財源の比率	**100.0%**	**0.0%**	**1.2%**		**0.0%**

② 従事職員数

常時	1	人

最大		人	×		日	＝	延べ		人

③ 各費目の詳細(R5決算)	
1.調査･設計委託料	
2.法面復旧工事	
3.土地等借上料	
4.負担金	千葉県緊急急傾斜地崩壊対策事業負担金

④ 特定財源の詳細(R5決算)	
国･県支出金	
地方債	緊急自然災害防止対策事業債
その他	

⑤ R4→R5　増減理由

当年度の負担金が生じなかったため。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	**概ね順調**	千葉県施行による急傾斜地崩壊対策事業は概ね順調に進捗しているため。

② 成果指標の推移（R4→R5）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	**好調維持**	整備予定箇所がないため
	指標イ		整備予定箇所がないため。

③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR6以降の方針）	判定	方針	判定･方針の詳細
	継続実施		

事務事業評価シート　令和 5 年度事後評価・決算

令和 6 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	29600	道路新設改良事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	171	道路新設改良事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	不詳			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

道路新設改良事業は、道路の新設や既存道路を拡幅整備することにより、交通の円滑化、安全性の向上、地域経済の活性化を目的としている。
また、道路冠水被害の軽減を図るため、排水不良箇所に排水施設を整備する。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

車社会の到来により、狭小な昔ながらの道路では歩行者などの安全な通行や緊急時の通行に支障が生じる。生活の根幹となる道路の拡幅整備により都市基盤整備の推進となる。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

道路改良率は、ゆるやかに上昇しているが十分なものとはいえない。また、用地取得の難しさや工事に多額の費用が必要であり、計画から事業完了までに時間を要することから、市民の要望に十分対応できていない。
一方で、人口減少社会においては、これまでに建設した道路の維持管理費の負担感が大きくなってきており、整備すべき路線の取捨選択をしていかなければならない。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動		提供するモノやサービス		成果		施策の展開		基本施策		基本目標
道路改良工事の実施 道路排水整備工事の実施	➡	道路の利用者に安全かつ快適な道路サービスを提供する	➡	道路改良済延長の増加 道路改良率の増加	➡	市道の整備	➡	安全で快適な道路の整備	➡	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

道路改良工事の実施
道路改良工事　8件(78,097千円)

道路排水整備工事の実施
道路排水整備工事　33件(123,246千円)

② 活動指標

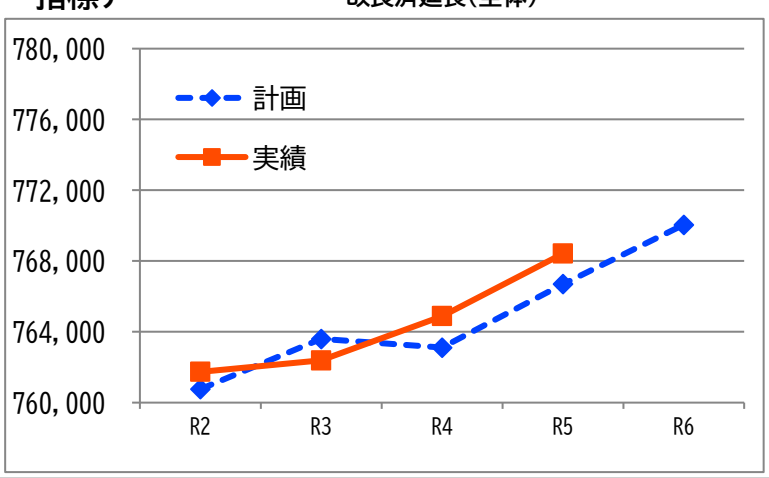
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	整備延長(単年度)	m	計画	2,999	2,203	2,635	1,813	1,760
			実績	1,798	2,215	1,986	801	
イ	整備対象路線数	路線	計画	27	24	30	16	12
			実績	27	32	34	41	

③ 成果指標

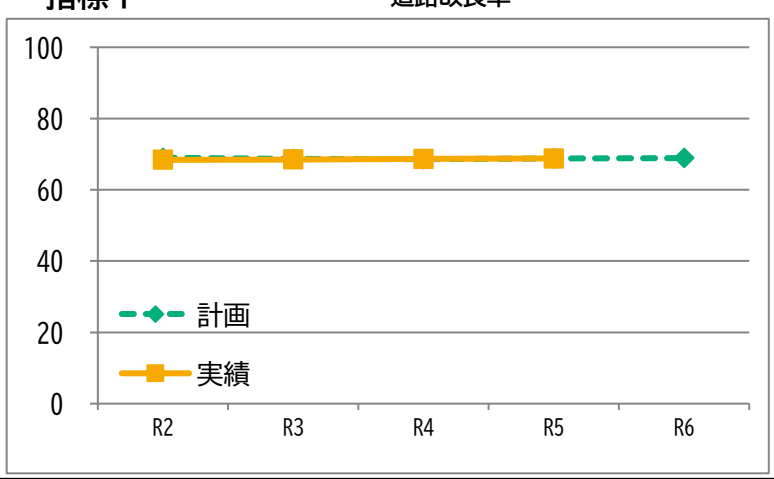
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	改良済延長(全体)	増やす	m	計画	760,760	763,600	763,115	766,698	770,052
				実績	761,737	762,390	764,885	768,415	
イ	道路改良率	増やす	%	計画	69.0	68.7	68.6	68.8	68.9
				実績	68.4	68.5	68.7	68.8	

④成果指標の動向

指標ア　改良済延長(全体)



指標イ　道路改良率



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 道路改良工事	38,200	45,385	79,178	78,097	237,538
	2. 道路排水工事	59,938	122,898	172,565	123,246	84,548
	3. 道路舗装工事	9,146	5,444			11,180
	4. 道路用地購入費	9,131	2,085	1,147	10,981	13,906
	5. その他	24,279	7,119	9,538	30,739	35,404
	合計	140,694	182,931	262,428	243,063	382,576
財源内訳	国・県支出金					
	地方債			2,600	18,752	80,300
	その他				5,084	
	一般財源	140,694	182,931	259,828	219,227	302,276
	一般財源の比率	100.0%	100.0%	99.0%	90.2%	79.0%

② 従事職員数

常時	13	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.道路改良工事	8件
2.道路排水工事	33件
3.道路舗装工事	-
4.道路用地購入費	5件
5.その他	業務委託　9件　土地借上　2件　物件補償　3件

④ 特定財源の詳細(R5決算)

国・県支出金	
地方債	道路新設改良事業債
その他	

⑤ R4→R5　増減理由

道路改良工事　微減。
道路排水整備工事の増加は、道路側溝等の老朽化が進み、改修工事が増加していることによる。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		概ね順調	令和5年度は予定していた道路改良工事及び道路排水整備工事が概ね完成した。
② 成果指標の推移（R4→R5）	指標ア	好調維持	令和5年度は予定していた道路改良工事及び道路排水整備工事が概ね完成し、改良済延長が向上した。
	指標イ	好調維持	令和5年度は予定していた道路改良工事及び道路排水整備工事が概ね完成し、道路改良率が向上した。

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR6以降の方針）	継続実施		交通の円滑化、安全性の向上及び地域経済の活性化の観点から整備すべき路線を抽出する。

事務事業評価シート　令和　5　年度事後評価・決算

令和　6　年 11　月 1　日

事業コード・事務事業名	29700	冠水対策排水整備事業

施策体系			
基本施策	20	居住環境の充実
施策の展開	40	住み良い住環境の確保
戦略事業名	188	広域排水計画の策定

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成25年度			
根拠法令	特になし			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

市域全域について、排水計画を策定する。
・流域・流末調査
・排水整備事業に反映する

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

合併により、旧市町区域を横断的に計画策定できる状況になったことから、より効率的な整備を行うため、市域全域を対象とした排水計画を策定する。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

(イ地区)　平成28年度に詳細設計を実施した。平成29年度に工事着手し、令和5年度末時点で進捗率は72%である。令和7年度の完成を目指す。
(ニ・ハ地区)　令和4年度に詳細設計を実施した。令和5年度に工事着手したが、電柱の移設に不測の日数を要したため、令和5年度末時点で進捗率0%である。令和10年度の完成を目指す。
(後草地区)　令和4年度に詳細設計を実施した。令和5年度に工事着手したが、周辺住民との調整に不測の日数を要しており、令和5年度末時点で進捗率は0%である。早期完成へ向けて、引続き周辺住民の理解を得られるよう交渉を継続する。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動		提供するモノやサービス		成果		施策の展開		基本施策		基本目標
用地買収 排水路整備工事	➡	ニ・ハ地区、後草地区における排水路の供用	➡	冠水被害の解消	➡	住み良い住環境の確保	➡	居住環境の充実	➡	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

イ地区
・排水路整備工事　58m
・家屋事前調査業務委託

ニ・ハ地区
排水路整備工事　61.5m(R6繰越工事)
家屋事前調査業務委託　2箇所(R6繰越工事)

後草地区
排水路整備工事　60m(R6繰越工事)
家屋事前調査業務委託　2棟(R6繰越工事)

② 活動指標

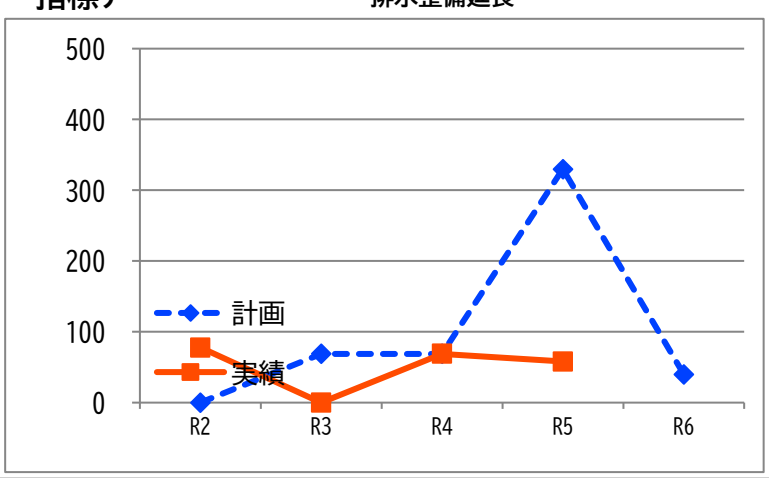
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	排水計画策定	地区	計画	2	0	2	0	0
			実績	2	0	2	0	
イ			計画					
			実績					

③ 成果指標

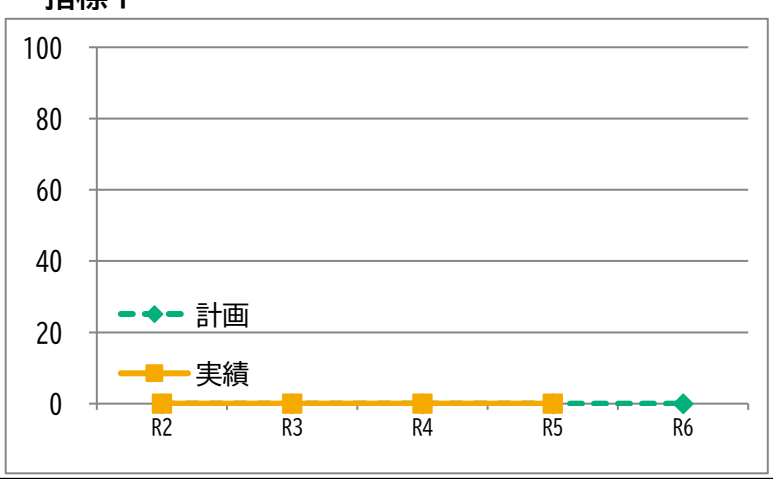
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	排水整備延長	増やす	m	計画	－	69	69	330	40
				実績	78	0	69	58	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　排水整備延長



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 委託料	30,392	6,813	21,657	2,343	11,704
	2. 補償補填及び賠償金	3,092	10,834	795	984	9,325
	3. 地域排水工事	55,342	25,160	106,140	126,953	374,831
	4. その他	144		7,499	50,639	73,117
	合計	88,970	42,807	136,090	180,919	468,977
財源内訳	国・県支出金					
	地方債	55,400	33,100	129,200	171,600	445,300
	その他					
	一般財源	33,570	9,707	6,890	9,319	23,677
	一般財源の比率	37.7%	22.7%	5.1%	5.2%	5.0%

② 従事職員数

常時	3	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.委託料	排水路詳細設計業務　2件　家屋事後調査業務　1件
2.補償補填及び賠償金	排水路整備工事に伴う物件補償
3.地域排水工事	イ地区排水路整備工事
4.その他	

④ 特定財源の詳細(R5決算)

国・県支出金	
地方債	冠水対策排水整備事業債
その他	

⑤ R4→R5　増減理由

詳細設計業務が完了し委託費が減少した。
後草地区の工事が始まり、工事費が増加した。
工事に支障となる、占用管の移設工事を実施したことから負担金が増加した。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		概ね順調	イ地区は、令和5年度工事が予定どおり完了した。また、令和6年度工事の事前準備として、関係機関へ占用管の移設工事を依頼し、次年度以降の工事進捗に向けて準備を行った。 ニ・ハ地区及び後草地区は、令和5年度工事が繰り越しとなり、令和6年度の完了を目指す。
② 成果指標の推移（R4→R5）	指標ア	向上	イ地区は、令和5年度工事が予定どおり完了した。
	指標イ		

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR6以降の方針）	継続実施		ニ・ハ地区、後草地区、イ地区で排水整備を行い、冠水被害を抑える。

事務事業評価シート　令和 5 年度事後評価・決算

令和 6 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	30000	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	34	主要道路の整備
戦略事業名	158	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成21年度			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

交流基盤を強化するため、飯岡三川地区と海上蛇園地区を連絡する新設道路を整備する事業である。
整備後は、東総広域農道から国道126号までを直結できるため、広域的な道路網が形成され地域間交流の活性化が期待できる。
また、現在の地区内道に代わる道路となるため、地区内の通り抜け車両と軽減できるほか、沿岸部で整備中の津波避難道路を補填し、地区住民の避難道路としても、防災力の向上が期待できる。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

1市3町合併時に策定した新市建設計画の主要施策として事業化したものである。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

事業費が一般的な道路整備に比べ大きいため、その財源確保が課題となっていたが、国土強靱化地域計画に基づく事業であり、国費の重点配分の対象事業となったことから、財源確保について改善している。
道路整備は事業費が大きいことから、事業の効果・必要性が問われている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 道路改良工事	飯岡海上連絡道三川蛇園線の開通	道路整備により地域間が結ばれる。また地区内道路に代わる道路であり、地区内道路の通り抜けの防止し、地区住民の交通環境が向上する。避難道路として地域の防災力が向上する。	主要道路の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

鉄道横断工事委託
　JR総部本線との交差部の横断工事をJR千葉支社に委託
信号機移設工事
　N=1箇所
道路改良工事

② 活動指標

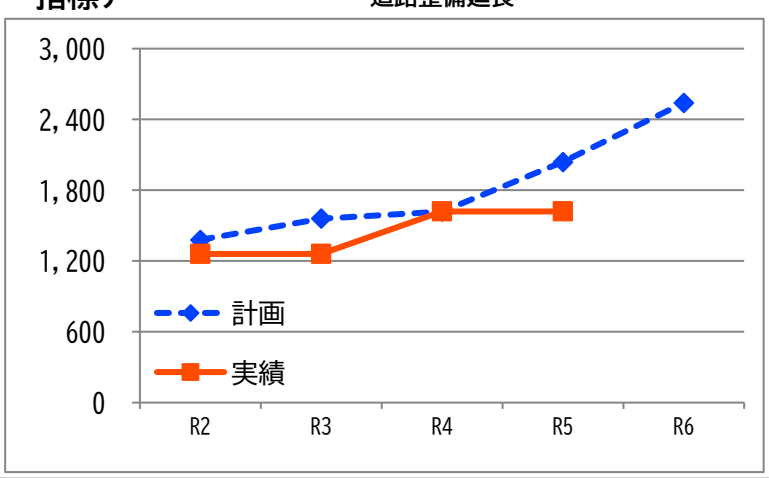
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	整備延長(単年度)	m	計画	0	300	360	420	920
			実績	0	0	360	0	
イ			計画					
			実績					

③ 成果指標

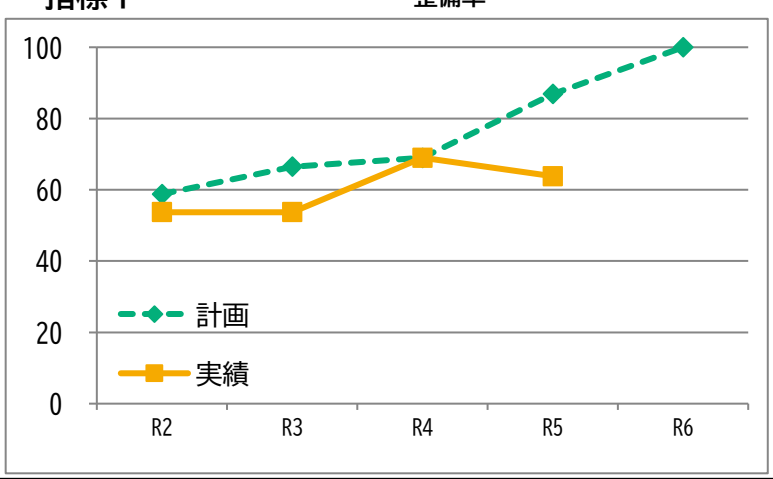
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	道路整備延長	増やす	m	計画	1,380	1,560	1,620	2,040	2,540
				実績	1,260	1,260	1,620	1,620	
イ	整備率	増やす	%	計画	58.8	66.5	69.0	86.9	100.0
				実績	53.7	53.7	69.0	63.8	

④成果指標の動向

指標ア　道路整備延長



指標イ　整備率



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 委託料	320,000	532,463	419,128	546,565	36,170
	2. 工事請負費	44,310	31,530	83,422	77,742	539,458
	3. 用地費		1,968		0	39,174
	4. 補償費			627	0	5,421
	5. その他	3,493	3,493	3,493	3,493	0
	合計	367,803	569,454	506,670	627,800	620,223
財源内訳	国・県支出金	111,595	183,599	228,049	337,263	160,600
	地方債	240,000	363,200	265,600	268,500	437,500
	その他					
	一般財源	16,208	22,655	13,021	22,037	22,123
	一般財源の比率	4.4%	4.0%	2.6%	3.5%	3.6%

② 従事職員数

常時 2 人

最大 人 × 日 ＝ 延べ 人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.委託料	鉄道横断工事委託料　測量及び道路詳細設計業務委託
2.工事請負費	信号機移設工事　1件　道路改良工事　3件　附帯工事　6件
3.用地費	
4.補償費	
5.その他	土地等借上料　6件

④ 特定財源の詳細(R5決算)

国・県支出金	社会資本整備総合交付金
地方債	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業債
その他	

⑤ R4→R5　増減理由

鉄道横断工事委託料は、協定期間の最終年度となり、R5年度末に完成した。最終年度に施工する工種が多く、R4年度と比較し委託料が増となった。
また、調査・測量委託料として測量及び道路詳細設計を(主)銚子旭線の北側で行っており、全体延長を2.35km→2.54kmに変更している。
工事請負費は、鉄道横断工事等関連工事との調整に不測の日数を要したため、前払金のみの決算となっており、令和6年度に繰越をしている。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	R元年度よりJRに委託していた鉄道横断工事がR5年度もって完成した。道路改良工事については、関連工事との調整で遅れがあるものの繰越を行い、工事に着手している。

		判定	分析(変動の要因や対策について)
② 成果指標の推移（R4→R5）	指標ア	好調維持	鉄道横断工事が完成し、横断部前後の道路改良に着手している。当該区間はR6年度に繰越して工事しており、整備延長は伸びていないものの、工事を進めている。
	指標イ	好調維持	, R5年度に(主)銚子旭線の北側の道路詳細設計を実施し、全体延長が2.35km→2.54kmに変更となっており、分母が大きくなったことから、整備率が一時的に減少に転じている。 R5年度は鉄道横断工事が完成し、横断部前後の道路改良に着手している。当該区間はR6年度に繰越して工事しており、整備延長は伸びていないものの、工事を進めている。

	判定	方針	判定・方針の詳細
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR6以降の方針）	継続実施		R6年度の完成に向けて、未整備区間の工事、未取得用地は引き続いて交渉、買収を行っていく。

事務事業評価シート　令和 5 年度事後評価・決算

令和 6 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	30100	南堀之内バイパス整備事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	34	主要道路の整備
戦略事業名	159	南堀之内バイパス整備事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成19年度			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☑ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏共生ビジョン
- ☑ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

国道126号から、(主)大栄・栗源・干潟線までを結ぶ本路線を整備することで、広域的なネットワークが確立され、首都圏へのアクセスも多様化するなど地域の産業振興の発展と生活基盤の活性化が図られる。

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

①産業振興の発展
②通勤時間帯の渋滞緩和・利便性の向上

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

難航していた用地取得は完了したが、10年以上前に設計した道路線形に修正が生じ、工事発注が困難。
早期完了を望む要望が多数有

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 道路改良工事	南堀之内バイパスの供用	市民の安全・安心かつ円滑な道路交通の確保による地域の産業振興の発展と生活基盤の活性化	主要道路の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

用地取得済み区間において、約150mの道路改良工事を実施した。(R4繰越工事)
現場発生土を事業間流用するため、混合処理及び運搬を実施した。
国営大利根用水との交差部に箱型函渠築造工事実施する。(R6繰越工事)
取付道路約90mの道路改良工事を実施する。(R6繰越工事)

② 活動指標

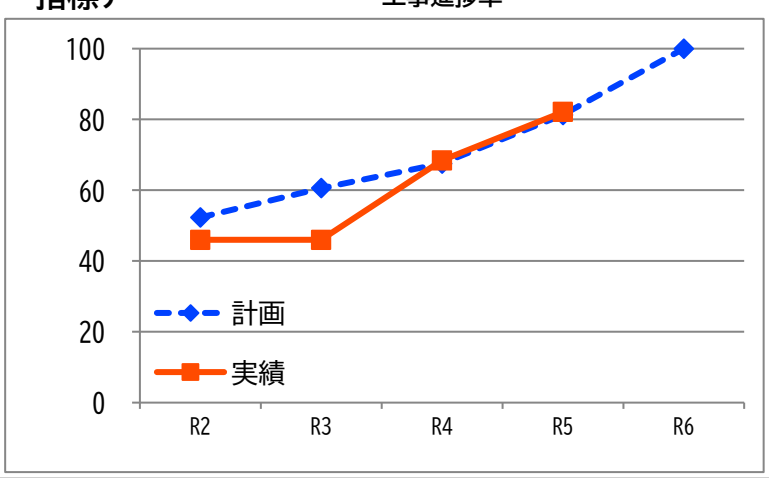
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	用地買収率(面積ベース)	%	計画	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	100.0	100.0	100.0	100.0	
イ	整備延長	m	計画	70	60	235	140	193
			実績	0	0	244	148	

③ 成果指標

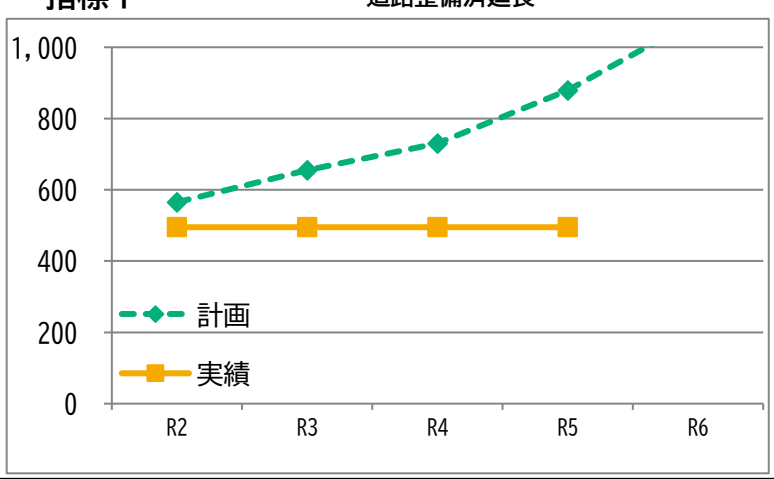
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	工事進捗率	増やす	%	計画	52.3	60.6	67.6	81.3	100.0
				実績	46.0	46.0	68.4	82.1	
イ	道路整備済延長	増やす	m	計画	565	655	730	879	1,080
				実績	495	495	495	495	

④成果指標の動向

指標ア　工事進捗率



指標イ　道路整備済延長



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 委託費	10,754	3,185			1,254
	2. 工事費	64,040	112,826	155,967	234,272	442,683
	3. 用地費					
	4. 補償費				1,246	350
	5. 土地等借上料					600
	合計	74,794	116,011	155,967	235,518	444,887
財源内訳	国・県支出金	18,909	45,985	58,672	5,742	
	地方債	52,900	68,181	97,200	229,700	444,200
	その他					
	一般財源	2,985	1,845	95	76	687
	一般財源の比率	**4.0%**	**1.6%**	**0.1%**	**0.0%**	**0.2%**

② 従事職員数

常時	1	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.委託費	
2.工事費	道路改良工事
3.用地費	
4.補償費	電柱移転費
5.土地等借上料	

④ 特定財源の詳細(R5決算)

国・県支出金	社会資本整備総合交付金
地方債	南堀之内遊正線整備事業債
その他	

⑤ R4→R5　増減理由

令和6年度供用開始に向け工事費が増大したため。
工事の施工に伴い、電柱移転費が必要となったため。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		**順調**	令和6年度供用開始に向け、既に用地取得は終了しているうえ、計画どおり道路整備が進捗しているため。
② 成果指標の推移（R4→R5）	指標ア	判定： **向上**	分析(変動の要因や対策について)：計画どおり道路整備が進捗しているため。
	指標イ	判定： **向上**	分析(変動の要因や対策について)：計画どおり道路整備が進捗しているため。
③ 今後の方向性（①・②を踏まえたR6以降の方針）		判定：**継続実施**	方針： 判定・方針の詳細：令和6年度供用開始に向け、既に用地取得は終了しているうえ、計画どおり道路整備が進捗しているため。

事務事業評価シート　令和 5 年度事後評価・決算

令和 6 年 11 月 1 日

事業コード・事務事業名	30110①	震災復興・津波避難道路整備事業（主要道路からの観点）

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	34	主要道路の整備
戦略事業名	160	震災復興・津波避難道路整備事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	3
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成25年度			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☑ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☐ 過疎地域持続的発展計画
- ☑ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

東日本大震災の津波被災地域における避難道路の整備及び被災地域の復興のための重要路線の整備を実施する。
横根・三川線(飯岡地区と津波避難場所である飯岡中学校を結ぶ路線) L=1.3km (平成25～)
椎名内・西足洗線(椎名内地区と災害拠点病院及び防災拠点である旭中央病院を結ぶ路線) L=3.0km (平成26～令和5年度)

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

災害時の避難道路の確保や被災地域と防災拠点のアクセス向上を図るため。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

用地取得の進捗が課題。
住民からは事業の早期完了が求められている。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
用地買収 物件補償 道路改良工事	津波避難道路の整備	避難道路を整備することにより、災害発生時の被害軽減と、被災地域の復興を図る。	主要道路の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

横根・三川線
千葉県警察本部との道路協議
道路改良工事　L=300m

② 活動指標

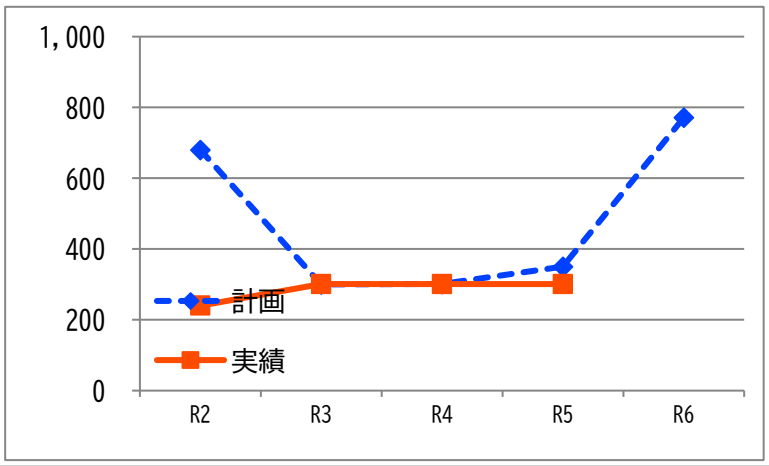
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	用地取得率(横根・三川線)	%	計画	100	87	90	90	90
			実績	82	87	87	87	
	用地取得率(椎名内・西足洗線)		計画	100	100	100	100	100
			実績	91	91	91	91	
イ	整備延長(横根・三川線)	m	計画	230	370	250	440	481
			実績	100	61	305	0	
	整備延長(椎名内・西足洗線)		計画	1,700	1320	930	0	
			実績	1,109	1,404	430	290	

③ 成果指標

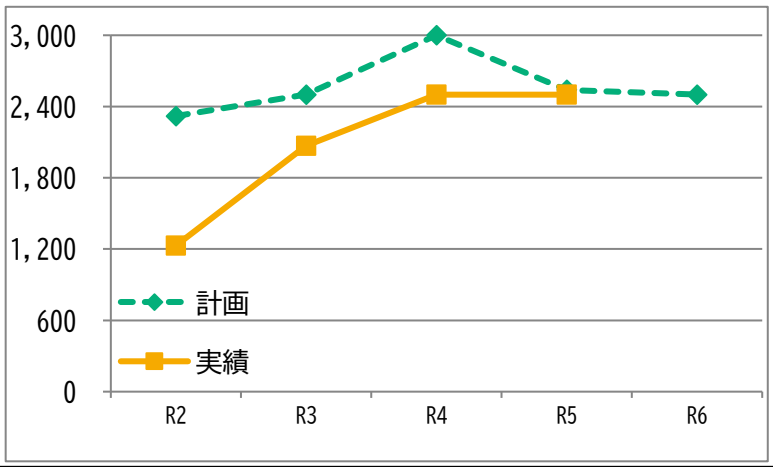
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	供用済延長(横根・三川線)	増やす	m	計画	680	300	301	350	771
				実績	240	301	301	301	
イ	供用済延長(椎名内・西足洗線)	増やす	m	計画	2,320	2,500	3,000	2,540	2,500
				実績	1,230	2,070	2,500	2,500	

④成果指標の動向

指標ア　供用済延長(横根・三川線)



指標イ　供用済延長(椎名内・西足洗線)



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 道路改良工事	194,708	341,808	149,590	72,828	169,290
	2. 補償金	21,005	24,745		855	6,928
	3. 委託料	5,940	443	946	8,925	8,954
	4. 用地購入費	13,881	7,295		0	1,099
	5. その他	13	38	166	0	4,418
	合計	235,547	374,329	150,702	82,608	190,689
財源内訳	国･県支出金	53,666	112,260	23,353		
	地方債			50,700	28,700	14,400
	その他	10,037		11,900		
	一般財源	171,844	262,069	64,749	53,908	176,289
	一般財源の比率	73.0%	70.0%	43.0%	65.3%	92.4%

② 従事職員数

常時 2 人

最大 人 × 日 ＝ 延べ 人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.道路改良工事	1-064号線、1-065号線 道路改良工事
2.補償金	物件補償費
3.委託料	不動産鑑定、物件調査、測量調査、道路詳細設計
4.用地購入費	道路用地購入
5.その他	土地等借上料

④ 特定財源の詳細(R5決算)

国･県支出金	社会資本整備総合交付金
地方債	震災復興・津波避難道路整備事業債
その他	東日本大震災復興交付金

⑤ R4→R5 増減理由

1-065号線が概ね整備が終わったことから一定の減となった。

(4)事務事業に関する評価

		判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗		概ね順調	横根三川線 千葉県警察本部との道路協議を行い、概ね協議が整った。 椎名内西足洗線
② 成果指標の推移（R4→R5）	指標ア	好調維持	横根三川線 千葉県警察本部との道路協議が必要となったが、概ね協議が整った。
	指標イ	好調維持	椎名内西足洗線 銚子連絡道路との交差区間を除き完成した。

③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR6以降の方針）	判定	方針	判定･方針の詳細
	継続実施		横根三川線 取得済の道路用地の工事を行い、避難機能を強化するとともに未取得用地の交渉を継続する。 椎名内西足洗線 終点側(西足洗地区)において、銚子連絡道路と交差するため、道路線形を再度検討する必要があり、千葉県と調整を進めていく。

事務事業評価シート　令和　5　年度事後評価・決算

令和　6　年 11　月 1　日

事業コード・事務事業名	30220	橋梁長寿命化修繕事業

施策体系			
基本施策	17	安全で快適な道路の整備
施策の展開	36	市道の整備
戦略事業名	173	橋梁長寿命化修繕事業

予算科目	会計	款	項	目
	一般	8	2	4
所管課	建設課			
担当班	土木班			
開始年度	平成25年度			
根拠法令	道路法			

掲載計画等
- ☑ 総合戦略
- ☐ 国土強靱化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏共生ビジョン
- ☑ 過疎地域持続的発展計画
- ☐ R5主要事業

(1)事務事業の概要 ※行政用語は使わず、簡潔に、市民にわかりやすく説明する

① 事務事業の内容(何をする事務事業なのか)

旭市橋梁長寿命化修繕計画に基づいた、予防保全型の維持管理を行う。
旭市管理橋梁　309橋

② 開始の経緯(なぜこの事務事業を始めたのか)

従来の対処療法的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図る。

③ 環境の変化・課題・意見等(現状で問題などはあるか)

進展する橋梁の老朽化に対し、効率的かつ効果的な維持管理を行う必要がある。

④ 事務事業の目的と位置付け(何を目指しているのか)

事業活動	提供するモノやサービス	成果	施策の展開	基本施策	基本目標
橋梁の点検・設計・補修工事	橋梁長寿命化計画に基づき、健全度が低い橋梁への工事	健全度の改善された橋梁	市道の整備	安全で快適な道路の整備	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

(2)活動と成果の状況

① R5の主な活動や実績

旭市橋梁長寿命化修繕計画の更新を行った。
無名橋外2橋補修設計し、袋橋外2橋の補修工事を行い、健全度の回復を図った。

② 活動指標

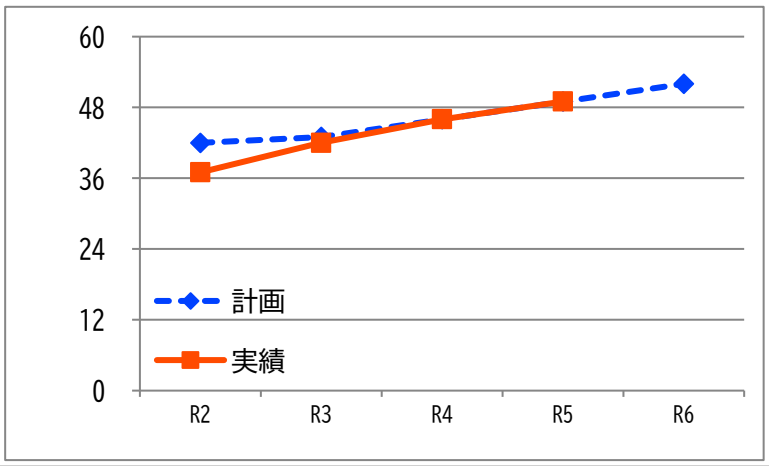
	活動指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	補修橋梁数	橋	計画	6	6	4	3	3
			実績	1	5	4	3	
イ	点検橋梁数	橋	計画	127	97	2	0	74
			実績	136	106	2	0	

③ 成果指標

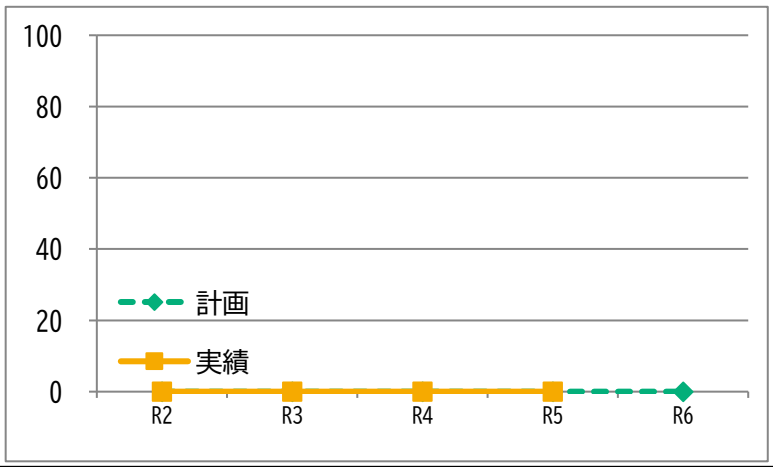
	成果指標	方向性	単位		R2	R3	R4	R5	R6
ア	補修済橋梁数	増やす	橋	計画	42	43	46	49	52
				実績	37	42	46	49	
イ				計画					
				実績					

④成果指標の動向

指標ア　補修済橋梁数



指標イ



(3)コストの状況

（単位:千円）

① 事務事業費		R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算
費目内訳	1. 工事請負費	1,155	7,817	23,444	12,406	50,175
	2. 委託料	34,424	30,473	14,570	7,466	32,000
	合計	35,579	38,290	38,014	19,872	82,175
財源内訳	国･県支出金	13,750	11,037	4,037	5,260	45,194
	地方債			15,400	2,000	20,300
	その他					
	一般財源	21,829	27,253	18,577	12,612	16,681
	一般財源の比率	61.4%	71.2%	48.9%	63.5%	20.3%

② 従事職員数

常時	4	人						
最大		人	×		日	=	延べ	人

③ 各費目の詳細(R5決算)

1.工事請負費	橋梁改修工事
2.委託料	調査・設計委託、調査・測量委託

④ 特定財源の詳細(R5決算)

国･県支出金	道路メンテナンス事業費補助金
地方債	橋梁改修事業債
その他	

⑤ R4→R5 増減理由

工事対象橋梁の工事費が安価だったため。
橋梁長寿命化修繕計画策定委託が入札によって、安価に契約できたため。

(4)事務事業に関する評価

	判定	分析(好不調の要因や対策について)
① 事務事業の進捗	概ね順調	点検結果に基づき、対象橋梁の設計を行っている。

② 成果指標の推移（R4→R5）		判定	分析(変動の要因や対策について)
	指標ア	好調維持	橋梁長寿命化計画に基づき工事を行った。
	指標イ		

③ 今後の方向性（①･②を踏まえたR6以降の方針）	判定	方針	判定･方針の詳細
	継続実施		修繕計画の更新 橋梁維持補修工事の発注 橋梁設計業務委託